

前ページよりこの地域は自分達で考えなければいけない」といって、皆さんの意識が共有でき、非常に良かったというお答えもありお気持ちが生きて取り組んで良かったと思っております。要援護者の登録は名簿を個人情報保護条例ののりとして、協定書を締結してお渡しして自治会の方々と訪問担当者としてそれぞれ回っていただきました。実際に回ると御自分が名簿、要援護者として申請した事を忘れていた方や避難所へ実際に行っても「逆に周りの人に迷惑をかける可能性があるのでは今回は遠慮した」「自治会の方が来るのなら名簿から外してほしい」という方も何かいました。

**関野** 自治会の方が訪問担当者になったようだが、一人職員の方が一緒についてあげる形をとる方が良かったのではないかと思います。

**回答** 訪問等については、第2回目の懇談会の中で詳細な訪問の仕方をコンサルの業者さんからも細かく説明して頂き、実際伺っています。訪問の方と共同で書類をつくり本人様からの了解を頂き、訪問された方々を通じて自治会役員の方から福祉推進課に送り届ける状況です。名簿は今後、警察や消防等にもお渡しの予定で、今後は年一回、名簿の更新等も考えています。以前、要援護者の登録は手挙げ方式だったが、現在は市の職員が直接該当と思われる方のところへ行く事は無いが今後、名簿登録でこちらで勧奨通知を出し、再勧奨の通知も送っているが、まだ回答をされていない方々に対してフォローは必要だと考えています。それぞれ所管の担当課と調整をして実際に訪問する事も検討していきたいです。

**関野** 郵送して返信ではなく、顔と顔を合わせて会話をすることを要望をします。スピーディーに、そして優先順位を決めて地域コミュニティが地域組織、自治会という形になるのか、そういった団体を使う事になるかを再構築して強力なものにしてほしいです。

2012.6/no.46

# ルネサンス Renaissance

発行：関野たかなり後援会

東大和レポート

## 平成24年第2回 定例会一般質問

- P.1.2 保育について
- P.2.3 ちょこバスについて
- P.3.4 地域コミュニティについて
- P.4 フィルムコミッションについて

## フィルムコミッションについて

**議長** 今年度東京都の東京ロケーションボックスに登録し、フィルムコミッション事業を進めていく準備として、東大和市の魅力を再発見するためのフォトコンテストを実施する予定です。

**関野** ロケーションボックスに登録、フォトコンテストを実施するとの事で良い案だと思いました。写真を撮る方々は東大和市のきれいな撮影場所をよく知っており、いろいろな方々から東大和市の情報をどんどん登録していくと、映画やテレビをつくる方が見たときに良い場所を見つけてもらえる事もあり、東大和市をアピールしていただきたいが、以外の部分に関してどのように思いますか。

**回答** フォトコンテストを実施し、観光マップ等に掲載を考えています。

**関野** 観光マップだけではなく、いろいろな形で表に出していただきたいです。第一弾はフォトコンテストの実施との事なので市だけでやるのではなく、市民や中央公民館の方で活動している方に御協力をお願いしますと、アピールすれば必ず市民の方は、良い形で返事をしてくれると思うのでよろしくお願いたします。

## 保育について

**市長** 待機児童数の現状は認可保育園は平成24年6月1日現在、158名で3歳未満が124名、78.5%となっています。尚、0歳児は4名、4〜5歳児では53名の空きがあり、保育園を選ばなければ入園できる状況です。今後の保育行政の予定は、平成22年度〜26年度まで5年計画期間で東大和市保育計画に沿い、今年度は向原保育園の建て替え、(仮称)東大和市桜が丘四丁目に新設予定で今後も待機児童解消に向け努めます。入園申し込み時の申請書類と内容の確認の方法について、保育園入園申込書、個人情報利用に関する同意書、保育園入園調査書、保護者の保育に欠ける理由が確認できる書類等の提出、個人情報利用に関する同意の上、住民記録情報、住民税に関する情報をシステムにより確認、勤務先での勤務内容は審査、疑義がある場合、電話により確認しています。

**関野** あくまでも書類の確認だけで、その後は追いかけていないようだが、調べた話で、代表者等がお知り合いなのかは分からないが、働いていないのに週5日、7時間以上という形の勤務証明書に印鑑を押し提出をする等、誰かに聞いたり教えてもらい、入園の方法を教えてくださいというお話があり、追いかけていくとある団体の方々に繋がったり、出入りしている議員さんがいるらしいと聞きました。もし、議員がやっているのであれば、間違いなくおかしい行為で入園をするに当たり嘘の報告や勤務証明書を書いている。私の耳に入った方は少なくとも10人以上いるのが事実です。現状は、勤務証明書しか見てないので実際に働かれていますか分からない。前議会に生活保護の件でお話したが、会社に直接出向く、勤務確認を行う事を提案します。以前、生活保護の時も課税調査を照らし合わせて収入の確認をする話もあり、保育園の入園の証明に対しても、しっかりと対応するべきです。同時に、そういった嘘で入園した場合の罰則のようなものは、今東大和市の条例であるのでしょうか。

**回答** 今のようなお話があるのであれば、適正な勤務されているのかを、書類の他に勤務先へ出向き確認するべきだと思います。保育の関係での罰則は、基本的には保育の入園に関して、条例、施行規則で行っているが、その中には罰則等の規定はありません。

**関野** 罰則をつくったほうがいいと私は思っています。本来やってはいけない事をやってしまう人間がいるので法律が必要であり、罰則をつくる事を要望します。

**回答** 保育の事実がない、働いてない、疑わしい事が発覚した場合には、先ほどの条例や施行規則の中で、事情聴取や意見を聞いて解除理由等を、こちらで説明するという規定はありません。



※詳細は東大和市ホームページ上の議事録を参照願います。

### 東大和市議会議員 関野たかなりプロフィール

生年月日：昭和48年10月14日38歳  
衆議院議員のもとで、スタッフとして政策を学ぶ中、自分の生まれ育った東大和市の状況を知り愕然とする。生まれ故郷の東大和市行政の将来必要とする政策(民間的経営感覚・文化芸術・自然保存など)の無策の危機と街の将来像に不安を持ったことが市議会議員として立候補する事を決意し現在に至る。2011年の統一地方選挙で3期目に突入！  
テマリ保育園けんげ保育園を経て都立北多摩高校卒業。商工会青年部・東大和青年会議所・東大和おどりフェスティバルなどで活動中  
平成15年29歳・初当選 / 平成19年33歳・2期目当選  
楽しい街〔東京・東大和〕創りを目標に日々奮闘中！！  
好きな言葉は、意思のあるところに道あり。

@TakanariS 関野たかなり <http://sekino2.com/index.html>  
TEL:042-567-4332 eFAX:020-4622-7039 (普通ファクスと同じように送ってください)  
〒207-0032 東大和市蔵敷3-775 芝中住宅イ18-305

← 表ページより  
**市長** 甘いと言っ方もいるが私は基本的に人は正しいと、最後は感謝すると思っが、関野議員の言っ事も当然あると思っ。市として出来るか検討したいです。

**関野** 勤務証明書には、『不正な事実が判明すると入園を取り消す事があります』と以前にはなかった文言が追加されているが、『取り消します』とすれば抑止力にもなるのかと思います。正直者がばかを見る世界では、皆さん一生懸命頑張ってもばかしくなってしまうと思います。正直な人がしっかりと保育園に子供を預けられて、家庭の為に働く仕組みが保てる事を要望しておきます。

今後の大規模開発だが、桜が丘の方に企業さんをお願いをして保育としての機能を持つ、もし子供たちが減り保育が要らなくなった場合は、その枠を解くような簡易的な保育所は造れますか。

**回答** 桜が丘4丁目の開発について、一部の土地を保育園との協議を調えつつあり今後の桜が丘周辺地域の開発では、保育施設等や児童施設も含め、特に保育園について市では全体的な状況から見、開発の担当としては充足や方策を引き続き考える案件と認識を持っています。認可保育園の勤務証明書の件も、似たような形で抑止力になる方向性を考えていきます。

## ちよこバスについて

← 表ページへ  
**市長** 平成23年度のちよこバスの利用者は年間12万5,585人、1日当たり344.1人。事業費は約5,207万円で収入約1,213万円を差し引いた市の負担額は約3,994万円。運行の問題点は、運行距離が長い循環ルートを3台のバスで運行している為運行本数を増やせない、駅前広場に乗り入れていない

← 前ページより  
 路線が繋がる等、知恵をお借りしながら利用しやすい路線を要望します。

## 地域コミュニティについて

**市長** 近年地域コミュニティの基盤である自治会の加入が減少傾向にあり、活性化が図られない問題点があります。既に自治会がある地域では自治会長を初めとする役員の方々の負担が大きく、役員のなり手が見つからない、参加する余裕がない人が多く活動に人が集まらない事があります。また、自治会のない地域では自治会活動を知る機会がない為、自治会の必要性や活動内容がわからない事があるようです。

**関野** 自治会のないところはつくるべきと、市長も確か施政方針で言っていたが、実際どのようにつくるのかが正直見えない部分があります。

**回答** 自治会のない地域、空白地域と呼ばれてるところだが、そこに自治会を設立する事は難しいと考えています。どう働きかけていくか、具体的には青少年や近隣の自治会の方に御協力を頂き、行事を広げてもらう等を考えているが、空白地域をできるだけ減らしていく努力をしていきたいです。

**関野** 市長が変わったので、それなりに考えがあるかと思っが、私が議員になって10年、全く考えが無いのかと今の答弁を聞いて思いました。市はあまり自治会を重視してない、地域コミュニティをつくる考えがないのか。もう一度聞かぬが自治会をつくる気があるのか、または違う形を考えているのですか。

**回答** 地域の協働という観点で、自治会は非常に大事と認識しているが、現在の住居形態等を見ると、マンションが非常に多く、マンションでは法律で管理組合必

ため利便性が劣る等、今後の地域公共交通会議において、問題の解決に向けて協議の予定です。コミュニティバスの運行は既存のバス路線では対応しきれなかった公共交通空白地域の解消を主な目的で、また今後の高齢化が進展する中で、高齢者等が社会参加しやすい環境を整える事も大切と考えています。

**関野** 毎年約3,994万円の状況だが、今後どのように解消していくかと考えていますか。また、私は芝中に在住だが、ちよこバスの運行開始後、立川バスの本数が減り、その後ちよこバスが無くなり以前より交通が不便になっています。現状、芝中と同じように今のルートに変更となり、以前より交通が不便になっている地域を把握しているのか。自治会長会議等でも話が出てると思っが意見は出ていませんか。

**回答** 現状の運行は、収入に対して運行経費の方が多くかかっている差額を委託している運行会社に支払う形がとられています。コミュニティバスの運行に関しては全国的に見ても、赤字は成り立たない事業です。今後平成24年度に地域公共交通会議を立ち上げ、その中で利便性の向上等を踏まえ、論議が行われていくと思っます。交通不便地域の定義だが、鉄道駅から半径500m、既存のバス停から半径300m等となります。現状で公共交通の空白地域としている箇所は、芋窪と武蔵村山市の境の部分と高木、狭山の辺りと桜が丘の警視庁のグラウンドの辺りです。今回7月末〜8月上旬にかけて、会議で報告、議論をしていただき、ルート等の見直しも含めた中で検討がされると思っます。地域公共交通会議の設置には、道路運送法の施行規則で構成とする関係機関等の規定あり、市民等の意見は住民または利用者の代表者を加える事があり、会議は関係機関等との協議の場として運営はされているが、検討段階の内容は地域で懇談会を開き、説明会や意見をお伺いする事を並行して検討を

置となっており、その数は65物件、棟数は100を超えており世帯数も6,000程で、その中に自治会に入っている、自治会組織のあるところも10団体程あり、大半は管理組合で活動されている。その中には自治会活動以上にやっているところもあるかと思っます。現在、色々な自治会に対する補助金は、自治会組織が地縁団体として認められると補助の対象にならない場合もあるが震災以来、非常に地域の力が必要となり、補助も生まれてきたところです。自治会としての結成はどうかという呼びかけも、我々が発信して足を運ばなければ、耳を傾けていただけないと、説得力がないと認識しています。なお空白地域については、近隣の自治会役員の方が足を運んでいるが、そこに我々も同行して一緒に制度等を説明していく事が必要だと、役員さん達からもお声を聞いているので検討を考えています。

**関野** 震災が起る前から、私は地域の方に育てられたイメージがあるので、教育にも役立つかと思っ、ずっとコミュニティの話をしています。東日本大震災があり、地域の方も自治会の必要性を感じていると思っが、人間というのは物事をすぐ忘れていくものです。そういう意味では早急に動く事で、新しい自治会の組織が出来ると思っます。言葉は悪いが、不安を持っる時にそういった会を立ち上げるとすんなり行くかと思っます。そこで質問だが、新しく自治会組織を今自治会がない地域につくる場合、先ほどの話では青少年対等の地域の方にお話があったが、臨時的に職員の方が自治会長になり組織をつくり、2年自くらいに会長職を変えて、その後本当の自治会になる、そういった順番でやる事は可能ですか。

**回答** 立ち上げについて助言、支援はできるが自治会は同じ地域に住んでる方による組織だと考えると疑問はあります。

**関野** 以前、日野市の活動に対してどうですかという

考えています。市の大きな施策事業の中で実施しており、今現在もバスが内回り、外回り走っる状況で今後も継続していきたい考えです。

**関野** ちよこバスを導入したのは、私が選挙で落ちた一番初めの年だったので、それから12、13年以上経っているが、十何年経っても交通不便地域の解消ができてない。「赤字にならない、今後も同じです」との事なら、ちよこバスを辞めたらどうかというのも意見だがいかかでしょうか。行政がこの事業を行えるのかどうかと考えてしまいます。基本的に「やるから交通会議を開いてお話をしましょう」から入るより、今後無くなる可能性も、やめる場合も考えるべきです。平成23年度の事業費から、乗車数1便平均で13.2人となる。以前は都から補助金が貰えて、1,000万円程の赤字で補助金等がなくなる時に一般質問をしたが、そのまま赤字がどんどん続いている状態なので、コミュニティタクシー等の方が便利かと思っます。交通不便地域を何とかする為に4,000万円も毎年かけて運営するのは違うのではと考えています。

**回答** 当初の計画では2,000万円程の赤字、1日500人前後であったので、きついものがあると思っます。補助金は3年間だけであり、当初の計画に戻す事を基本的には考え、駅や通勤、通学の人たちの把握、運行回数を見直す必要があると思っます。また西武バスが南側の巡回ルートを撤退した事もあり、トータルで考えてどこまで赤字が減らせるか、2,000万円を一つの目標としたので色々な方の御意見を聞きながら進め、より一層多くの方に便利になったと言っていただけ形に直していければ思っます。

**関野** このちよこバスを辞めるのも勇気だと思っます。今後実施していくなら、他の路線バスのプロの方々とお話をし、ルートをこういう形で通ればすべての

※詳細は東大和ホームページ上の議事録を参照願います。

← 次ページへ

話をしたら、検討はしているが、やらない事になったと認識しているが、マンション等に関しては、皆さん入る管理組合があるから、自治会はつくりやすいと思っが一軒家等に関して、今まで無かったところに新しく自治会をつくる必要があると考えるが、詳細に市長の考えを教えてください。市民に丸投げではなく、職員も入った形をつくる事を要望します。

**市長** 自治会に限らず色々な団体があるが、構成する人々、会員が減少している。自治会をどうしていくか、日本的には地域コミュニティ、自治会という関野氏が議員になった時から何とかしなければいけないと、市でもやってきたのは間違いなく思っています。確か、三鷹市で自治会の町内会や組織の無いところでの自主防災組織として新たな活動を自指しているとの事で具体的な内容については確認はとれていないがヒントになる考えでした。失われた相隣関係をしっかりと生かして防災、交流や趣味や健康等、複合的な目的を持った組織が今は求められている。その中心になるのが自治会と思っが、別の形でも良いのではないかと考え、地域にある各団体を結びつけていく事にも、力を入れていく必要があると思っます。体制としては、今年4月から新たな対応をする為の係を充実させたい、私自身は意思表示はしたが、一つのポイントになる「防災」をキーワードに、各団体等を含めて地域活動をしている、お住まいになっる方、勤めている方を含めて結びつけていく事が、一番早いと思っています。関野議員も言うように、震災を忘れないうちに「鉄は熱いうち打て」と考え、PRや呼びかけが一つの方法ではないかと思っます。

災害時要援護者対策の件は、湖畔の方でモデル事業を行った結果、要援護者の個別支援計画の作成は、残念ながら低調でありました。認識のギャップがあり、個別支援計画までには至らなかったとの事です。だが、「自分達

← 表ページへ